

「学校だより」2023年 5月号

新沢っこ

回 覧

檀原市立新沢小学校

電話 27-4163

新緑が目にもまぶしい季節になりました。朝、登校時にバイクに乗って、それぞれの部団の登校の様子を見ていると、新しい学年がスタートして、「がんばろう!」という子どもたちの気持ちを感じられます…というも高学年は、低学年のことを気遣い、1・2年生のペースで歩いています。また、中学年は、隣に一緒にあるいている1・2年生を気遣う姿が見受けられます。おそらく、低学年は、そんな大きいお姉さんやお兄さんに憧れ、まねをすることで成長をします。高学年は自分もそうしてもらったように、今度は自分がそうするのです。恩送りです。低学年の児童は、高学年の児童の優しさや温かさを感じ、高学年の児童は、低学年のかわいさに癒やされると同時に、自分自身の成長を自分自身で感じるのです。頼りにされる自分、人のために役に立っていると感じる瞬間に、自分の存在の尊さを確認し、自己肯定感が育ちます。自分も人も大切に思える新沢っこでいてほしいですね。私は、そんな新沢小学校が大好きです。共に育ち合う新沢っこをみんなで温かく見守っていきたいと思います。保護者のみなさまには、今後も、温かい見守り、ご支援・ご協力をお願いします。



これからの学校のありかた

10年以上も前から奈良県教育委員会では『学校地域パートナーシップ事業』という取組が実施されています。この事業は、「学校と保護者、地域のみなさんが、どのように連携して子どもたちを育てていくのか」という目的で各市町村の学校で取り組まれています。

この3年間、コロナ禍で学校に保護者のみなさまや地域の方々をお招きすることが難しかったのは周知のことであると存じます。しかし、5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5類感染症に移行します。コロナ感染者数が増加傾向にあることは、気になりますが、今後は【開かれた学校づくり】を進めて参りたいと考えています。そして、保護者・地域のみなさまに学校に来校いただく機会を設定し、教育活動を通して、共に子どもたちを育てていくという視点で学校教育に参画していただきたいと考えています。

現在は、○登下校の見守り活動 ○(学校の花植えや草刈り等に関わるお手伝い等の)学校環境整備活動 ○読書活動(毎週木曜日の朝の会での読み聞かせ)に加えて、昨年度より、通常の掃除時間に子どもたちと掃除をしていただくピカピカタイムも始めました。

具体的なことは、来月号でお伝えさせていただきますので、よろしく願いいたします。

「学ぶ」ということ

※「学ぶ」は、これまで何度か掲載させていただいています。

「学ぶ」という字は、まねをする「まねる」から「まねぶ」、「まなぶ」と変化してきた言葉だとも言われています。赤ちゃんが、親のすること、話すことを見たり聞いたりして、「まね」をすることから、言葉をはじめとするさまざまなことを学んできたことからしても、そのことを理解することができます。

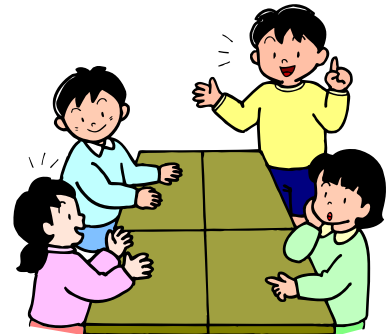


本来、人は一人では学べません。人と関わることで、学びは成立します。この漢字の上の部分には、『手と手の間に「メ」が2つ』あることを表しています。「メ」は交わることを意味しますから、「学ぶ」とは人が人と手をたずさえて互いに行われるものだという事になります。

一人で何でも「できる」ようになることは、素晴らしいことです。でも、一人でできなくても友だちとなら「できる」または、「やろうとする」ことは、もっと素晴らしいことかもしれません。「3人寄れば文殊の知恵」。なかまと知恵を寄せ合うことで、自分一人では思いもよらなかったことに出会えるかもしれません。その感動をなかまとともに味わうことを「学ぶ」とよぶなら、学校ってなんて素敵で、楽しいところなのでしょう。

けれど、この交わるのが本当に厳しい事態になってしまいました。「3人寄らないで、机の間隔を大きく広げる。」「せめてオンライン学習で、とりあえずやり方だけを覚える。」そんな無味無臭の作業としての学習で「勉強嫌いの子ども」をつくるのがあってはなりません。

答えよりもそのプロセスを大切に、わからないことをわからないと言える安心感のある教室をつくり、「わからない」は「わかりたい」の裏返しの言葉だととらえ、「わからないこと」を大いに褒めることで考えようとする子どもを育てたいと考えます。この子たちが社会を担うようになるAIの時代に世の中が求めているのは、自ら考え、豊かな創造力とあきらめない精神力を持つ人間であることはまちがいのないことでしょう。



新沢小学校では、子どもたちが「なかまといっしょに学びたい」という気持ちを大切に私たち教職員も学び続け、取組を進めて参りたいと考えています。

様々な行事について

新沢小学校では、コロナ禍であった3年間もできるだけ「子どもたちの学びを止めないこと」を念頭に、創意工夫を凝らして行事を進めてきた経緯があります。

前述したように5月8日からはそれが緩和されることもありますので、当面では、【(1~4・6年)春の校外学習】【授業参観】【(5年)野外活動】【プール水泳】…と実施する予定です。

すべての活動については、安全面に十分配慮して実施して参りますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。